

10月号



ほけんだより

発行日 / 令和4年9月30日

夏の暑さもおさまり、秋らしくなってきました。さわやかにふく風が秋の深まりを知らせてくれます。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあるので、手洗いや衣類の調節でかぜ予防を心がけましょう。

<9月の感染症のお知らせ>
手足口病 2名
ヒトメタ 4名

耳鼻科検診について

10月5日(水) 10時からは、**3・4・5歳児対象**の耳鼻科健診日です。

健診医は、山崎クリニックの山崎先生です。9月30日(金)にコドモンより配信されるアンケートより問診の回答をお願いいたします。当日欠席された場合は、個別で受診が必要になります。なるべく欠席されないようお願いいたします。前の日には耳掃除をしておきましょう。

内科健診について

10月21日(金) 13時からは**全園児対象**の内科健診日です。健診医は長谷川先生です。前回の内科健診をお休みされたお子様は、今回の健診も欠席されますと、個別受診が必要になります。

秋かぜに注意

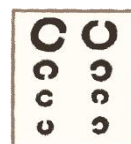
秋は気温差が激しいため、かぜを引きやすくなります。ご家庭では背中を触るなどして確認し、汗をかいているようなら衣服を取り替えてあげましょう。また、手洗いをこまめに行う習慣を付け、規則正しい生活でウイルスを寄せ付けないようにしましょう。

10月10日は

目の愛護デー



子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は6歳頃にほぼ完成すると言われています。その後に視力が低下するのは、幼い頃の姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。自然の中で十分に遊ばせ、外の景色をたくさん見せることでお子さまの視力を育てていきましょう。



こんな見方は危険信号！

- ・テレビや絵本に近付いて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めて見る
- ・上目遣いに物を見る
- ・目つきが悪い、目が寄っている
- ・見る時に首を曲げたり、頭を傾けたりする

このような症状が見られると斜視や弱視の可能性が考えられます。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、上記のような症状がないか普段から気にかけて見るようにしてください。